

思い出に残る運動会

校長 六 車 健

5月24日の運動会には、保護者や地域の皆様が大勢ご参加くださり、ありがとうございました。この運動場での最後の運動会。子どもたちは、泥んこになりながらも精一杯の演技を見せてくれました。また、学年ごとの親子ふれあい活動も大いに盛り上がり、思い出に残る運動会となりました。

開会式とともに雨が降ったのでいつ中止にすべきか悩みましたが、最後まで実施することができたのは、観客席をぐるっと覆ったテントのお陰でもあります。

前日に5・6年生と先生方、二番丁地区体育協会、PTA、子ども会等の方々が20のテントを張ってくれました。また、運動会直後の大雨で濡れたテントを火曜日の夕方、同様に片付けてくれました。このような献身的な活動に支えられての運動会でした。

重ねて御礼申し上げます。ありがとうございました。

名前を呼んで挨拶する

子どもたちの挨拶の様子を見て気づいたことがあります。「おはようございます」より「さようなら」のほうが元気がいいのです。ご家庭でも「行ってきます」より「ただいま」のほうが声が大きいのでしょうか。

挨拶は人間関係の基本です。子どもの頃から身につけさせたいものです。

先日、次のような文章に出会いました。(鍵山秀三郎著『一日一話』より)

挨拶で心がけていることは、その人の名前を必ずつけることです。
たとえば「鈴木さん。おはようございます。」というように。
ただ挨拶だけをより、相手の名前を呼んで挨拶しますと、それだけで喜ばれます。親近感を覚えます。
不思議なもので、自分の名前には敏感に反応するのが人間です。名前をつけるだけで挨拶に血が通います。

私も毎朝、たくさんの子らと挨拶しています。それでいながら、なかなか名前を覚えられないもどかしさを感じていました。

なるほど、名前をつけるといいんですね。

3日朝には「ボランティア出合いの集い」も開かれます。1年間お世話になる見守り隊や図書館ボランティアの方々と子どもたちとの顔合わせです。

感謝の気持ちを込めて花の苗を贈るとともに、名前も覚えてほしいと願っています。 お知らせ

6月の毎週火曜日の朝、高松市倫理法人会の皆様、正門と西門で挨拶運動をしていただきます。

同会では毎月市内の学校を回って、挨拶運動をしているそうです。